

2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年12月27日

上場会社名 ハンワホームズ株式会社

上場取引所 東

コード番号 275A URL https://www.hanwa-ex.com

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 鶴 厚志

問合せ先責任者（役職名） 執行役員 経営管理部部長（氏名） 眞國 慶多（TEL） 072（485） 0102

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第3四半期の業績（2024年2月21日～2024年11月20日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	1,486	-	32	-	34	-	23	-
2024年2月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	117.07	-
2024年2月期第3四半期	-	-

（注1）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（注2）当社は、2024年2月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2025年2月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第3四半期	897	64	7.2	323.54
2024年2月期	823	41	5.0	206.47

（参考） 自己資本 2025年2月期四半期 64百万円 2024年2月期 41百万円

（注）当社は、2024年7月21日付けで普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年2月期	-	0.00	-	-	-
2025年2月期（予想）	-	0.00	-	-	-

（注） 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 2025年2月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2025年2月期の業績予想（2024年2月21日～2025年2月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,856	14.2	22	-	19	-	13	-	66.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期3Q	200,000株	2024年2月期	200,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	—株	2024年2月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年2月期3Q	200,000株	2024年2月期3Q	200,000株

(注) 当社は、2024年7月21日付けで普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数 (四半期累計) を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、物価上昇の影響を受けつつも雇用・所得環境の改善に加え、インバウンド需要の回復などを背景に緩やかな回復が続きました。一方で、中国経済の停滞、ロシア・ウクライナ問題の長期化、中東地域をめぐる情勢など不安定な海外情勢が続き、海外経済の下振れ懸念の影響により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界においては、公共工事、民間設備投資は持ち直しの動きがみられたものの、依然として人手不足による人件費の高騰、建設資材価格の高止まりにより業界全体の原価高騰が続いており、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような事業環境の下、当社の空間創造事業では従来の戸建住宅に限らず、新たに法人施設案件の受注、官民連携事業への参画など事業範囲の拡大を意識した営業活動を行ってまいりました。

DEPOS事業においては、長引く物価高による消費者心理の悪化により、嗜好品における購買意欲の低下が懸念される厳しい状況が続いております。一方、屋外商品に限らずインテリア商品の拡充など新ジャンルの商品を取り扱うことで従来の顧客層に加え、新規顧客を獲得してまいりました。また、空間創造事業とDEPOS事業の事業部間シナジーをより創出できるようなBtoB施策を推進しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高1,486,345千円、営業利益32,434千円、経常利益34,064千円、四半期純利益23,413千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

① 空間創造事業

空間創造事業は、住宅着工件数が減少傾向にある中、戸建住宅受注が伸び悩んでいる状況である一方、法人施設案件が受注できたことで売上高897,713千円、セグメント利益37,005千円となりました。

② DEPOS事業

DEPOS事業は輸入商品の多くが長引く円安の影響を受けており、為替予約の実施による安定的な原価コントロール、広告宣伝費の適正化等を実施しました。また、前期から継続しているSNS施策の改善、新規法人案件獲得しBtoB取引が順調に推移した一方、ECモールでの売上減少した結果、売上高588,631千円、セグメント損失4,571千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は897,301千円（前事業年度末823,926千円）となり、73,374千円増加いたしました。流動資産は581,759千円（前事業年度末490,645千円）となり、91,113千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少11,671千円、商品の減少15,603千円、売掛金の増加31,654千円、完成工事未収入金の増加120,432千円によるものです。また、固定資産は315,542千円（前事業年度末333,280千円）となり、17,738千円減少いたしました。これは主に、リース資産の増加6,830千円、繰延税金資産の減少12,290千円、減価償却等による減少15,603千円によるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は832,594千円（前事業年度末782,632千円）となり、49,961千円増加いたしました。流動負債は580,663千円（前事業年度末498,482千円）となり、82,180千円増加いたしました。これは主に、支払手形の減少9,285千円、買掛金の増加6,603千円、短期借入金の増加60,000千円、未払金の増加9,041千円、未払消費税等の増加13,374千円によるものです。また、固定負債251,931千円（前事業年度末284,150千円）となり、32,218千円減少いたしました。これは主に返済による長期借入金の減少35,352千円、長期リース債務の増加5,897千円によるものです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産は64,707千円（前事業年度末41,293千円）となり、23,413千円増加いたしました。これは四半期純利益の計上23,413千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期業績予想につきましては、2024年11月14日に公表の業績予想から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月20日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	147,931	136,259
売掛金	56,233	87,888
完成工事未収入金	34,120	154,553
契約資産	63,029	31,556
商品	165,355	149,752
前渡金	3,662	6,882
前払費用	14,013	4,919
その他	6,298	9,947
流動資産合計	490,645	581,759
固定資産		
有形固定資産		
建物	164,955	158,703
構築物	15,175	14,245
機械及び装置	1,534	1,268
車両運搬具	3,356	—
工具、器具及び備品	9,525	8,585
リース資産	—	6,830
土地	59,916	59,916
有形固定資産合計	254,464	249,549
無形固定資産		
ソフトウェア	27,261	27,513
その他	184	184
無形固定資産合計	27,445	27,698
投資その他の資産		
繰延税金資産	35,177	22,886
長期前払費用	2,858	2,091
その他	13,334	13,316
投資その他の資産合計	51,371	38,294
固定資産合計	333,280	315,542
資産合計	823,926	897,301

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月20日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	9,285	—
買掛金	25,070	31,674
工事未払金	84,090	83,315
短期借入金	250,000	310,000
1年内返済予定の長期借入金	47,136	47,136
未払金	33,593	42,635
未払費用	10,378	14,376
未払法人税等	721	360
未払消費税等	7,819	21,193
契約負債	14,605	2,837
リース債務	—	1,399
賞与引当金	12,780	16,580
その他	3,001	9,153
流動負債合計	498,482	580,663
固定負債		
長期借入金	276,863	241,511
長期リース債務	—	5,897
その他	7,287	4,523
固定負債合計	284,150	251,931
負債合計	782,632	832,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	11,293	34,707
利益剰余金合計	11,293	34,707
株主資本合計	41,293	64,707
純資産合計	41,293	64,707
負債純資産合計	823,926	897,301

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

当第3四半期累計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年11月20日)	
売上高	
完成工事高	897,713
商品売上高	588,631
売上高合計	1,486,345
売上原価	
完成工事原価	685,976
商品売上原価	
商品期首棚卸高	165,355
当期商品仕入高	252,623
輸入諸費用	21,560
合計	439,539
他勘定振替高	7,684
商品期末棚卸高	149,752
差引売上原価	282,102
売上原価合計	968,079
売上総利益	
完成工事総利益	211,736
商品売上総利益	306,528
売上総利益合計	518,265
販売費及び一般管理費	485,831
営業利益	32,434
営業外収益	
為替差益	4,628
その他	429
営業外収益合計	5,058
営業外費用	
支払利息	3,417
支払保証料	10
営業外費用合計	3,427
経常利益	34,064
特別利益	
固定資産売却益	2,312
特別利益合計	2,312
特別損失	
固定資産除却損	311
特別損失合計	311
税引前四半期純利益	36,064
法人税、住民税及び事業税	360
法人税等調整額	12,290
法人税等合計	12,651
四半期純利益	23,413

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第3四半期累計期間(自 2024年2月21日 至 2024年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 損益計算書 計上額
	空間創造事業	DEPOS事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	—	588,631	588,631	—	588,631
一定の期間にわたり移転される財	897,713	—	897,713	—	897,713
顧客との契約から生じる収益	897,713	588,631	1,486,345	—	1,486,345
外部顧客への売上高	897,713	588,631	1,486,345	—	1,486,345
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	897,713	588,631	1,486,345	—	1,486,345
セグメント利益又は損失(△)	37,005	△4,571	32,434	—	32,434

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る減価償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年11月20日)
減価償却費	15,603千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。